

# 育成

だより

第98号

発行 大刀洗町青少年育成町民会議  
TEL 77-2670 FAX 77-2720  
編集 広報委員会



## 成人式特集



成人者代表  
誓いの言葉

女性代表  
渡邊 慧

男性代表  
梶原 啓介



平成二十二年一月十日。私たちは今、成人式を迎えます。はじめに、私たち新成人のためにこのようなすばらしい式を開催していただきましたことを、町長様をはじめ、教育委員会、関係者の皆様に、新成人一同、深くお礼を申し上げます。そして、同じ学舎を巣立った私たちが、またこのように、合唱コンクールを行なった大切な思い出の場所に集い、一緒に式を迎えることができたことを大変嬉しく思います。

私が生まれたのは平成元年。平成の時代がスタートした年でした。二十歳を迎えた昨年は、あたらしい「新」という文字が一年間を最も象徴する漢字に選ばれました。私も、今日の日を人生の節目の日として心に刻み、新しい気持ちでこれからの人生をスタートさせたいと思います。

さて、今日からの私たちは社会において、「大人」として見られるようになります。そのため、自分の一つ一つの行動に、今まで以上に自覚と責任を持たなければなりません。将来への不安もあると思いますが、己に負けず、自分の進むべき道を見つけ、精一杯歩み続けていきたいと思っています。

今日までの二十年間の中で、私たちには様々な方々との出会いがありました。いつもそばで支えてくれた家族、喜びや悲しみを共に分かちあってきた友人たち、時には厳しく、時には優しくご指導下さった先生方、私たちの成長をいつもあたたかく見守り、応援して下さった地域の方々、全ての出会いに意味がありました。そんなたくさんの方々のおかげで今日の私たちがいます。感謝の気持ちでいっぱいです。これからも私たちは人とのつながりや輪を大切にしながら相手を思いやる気持ちや感謝する心を忘れないように過ごしていこうと思います。

最後になりましたが、お忙しいなかご出席いただきましたご来賓の方々、そして家族をはじめ、これまでお世話になった全ての方々に感謝し、誓いのことばをいたします。

本日は本当にありがとうございました。

本日は、私たちの為にとこのような素晴らしい式典を催して頂き、誠にありがとうございます。

町長をはじめ、教育委員会、ご来賓の皆様方に、壇上からではございますが、新成人を代表しまして御礼申し上げます。

さて、本日晴れて成人式を迎えることができた私たちは、平成という時代と共にその歩みを進めて参りました。気がつくと時代も私たちも二十年という時を過ごし、その間、多くの事を経験してきたのです。

しかしながら、私たちの行く手にある今日の日本の社会は、そう簡単に私たちを受け入れてくれるものとは思えません。アメリカのサブプライムローン問題に端を発する世界的な不況、政権交代といった様々な影響を受けた社会情勢は極めて不安定な状態にあると言っても過言ではないからです。

このような社会情勢の中で、私たち新成人に求められたことは、「温故知新」の考え方を持つことではないでしょうか。

中国最初の思想家である孔子の言行記録とされる論語の一説には、「故きを温ねて新しきを知れば、以て師為る可し。」「過去の事柄や学説はどの意味を学び極めて、そこから現在にふさわしい新義が発見できるようになれば、人を教え導く師となることができるのだ。」といった内容が著されています。ここから、「古い事柄や学説などを研究して、そこから新しい知識や現代的意義を見出すこと」つまり「温故知新」の考え方が生まれたのです。

過去を振り返るということは、時に辛いことでもありますが、日本がその歴史の中で築き上げてきた様々な経験、自分自身がこれまでの人生の中で経験してきたことを改めて考え直すことで、自らの進むべき道が見えてくるのだと思います。

そして、成人式というひとつの節目である今日この日から新たに、もしくは更に歩みを進めて参りたいと思います。

終わりにあたり、今日まで私たちを時には厳しく、時には優しく支えてくれた多くの方に感謝の意を表しますとともに、今後ますますのご支援賜りますよう心からお願い申し上げます。成人代表誓いのことばと代えさせていただきます。





# 式辞

町長 安丸国勝

新成人の皆さん、ご成人おめでとうございます。

輝かしい二〇一〇年の新年を迎え、大刀洗町成人式を、このように盛大に挙行できますことを大変うれしく思っております。今年は一九七名の方が、成人の日を迎えられました。ここで、大刀洗町民を代表いたしまして心からお祝い申しあげます。



希望と決意で力強く第一歩を踏み出されることを心強く思う次第であります。また本日は寒さ厳しく、年頭のご多用の中、ご来賓各位におかれましては、多数ご臨席を賜り、成人者への祝福とご激励をいただきますことは誠に有難く、厚く御礼申し上げます。さて、二十歳になられまずと、初めて選挙権が与えられ、本当の意味での行政への参画が可能となります。



そして、等しく社会に対して、果たすべき義務も担うこととなります。自分の行動と発言に責任を持つ存在になったことを、しっかりと自覚していただきたいと思えます。

私の信条は、厳しい現実に向かいながらも萎縮せず、悲観しないこと。そして、夢に向かって前進することです。

現在、国内外問わず先行きが見えない混沌とした状態が続いておりますが、悲観することなく、皆さん方が安心して住める町、住んでよかつたと思えるような町づくりに鋭意努力していきたいと思っております。



皆さんも、これからの人生いろいろな困難があろうかと思えますが、目標に向かって挑戦する勇氣と氣力を持つて突き進んでください。自ら願うところ必ず道は開けます。皆さんの大いなる可能性に期待をしております。そして、この田園広がるおだやかで温かい大刀洗町に誇りを持ち、大きく羽ばたいていただきたいと思えます。

ここに、皆さんの輝かしい未来に幸多かれと心から祈念いたしますとともに、本日の開催にあたり、ご尽力頂きました関係者の方々に感謝申し上げ式辞と致します。





### 成人式を迎えて

大堰校区 山田奈津美

今年、私達は成人式を迎え、それぞれが今までとは違う世界への一步を踏み出しました。今までの苦難を乗り越え、この素晴らしい日を迎えることができたのも、家族をはじめ地域の方々や友人、多くの支えがあったからこそと、心より感謝申し上げます。

今年、私達は成人式を迎え、それぞれが今までとは違う世界への一步を踏み出しました。今までの苦難を乗り越え、この素晴らしい日を迎えることができたのも、家族をはじめ地域の方々や友人、多くの支えがあったからこそと、心より感謝申し上げます。

今年、こうして多くの友人達と成人式を迎えることができたことを、うれしく思っています。また、今まで私たちを見守ってきてくださった両親、先生方、そして町内の皆様に、この場を借りて感謝を伝えさせていただきます。

今年、こうして多くの友人達と成人式を迎えることができたことを、うれしく思っています。また、今まで私たちを見守ってきてくださった両親、先生方、そして町内の皆様に、この場を借りて感謝を伝えさせていただきます。

今年、こうして多くの友人達と成人式を迎えることができたことを、うれしく思っています。また、今まで私たちを見守ってきてくださった両親、先生方、そして町内の皆様に、この場を借りて感謝を伝えさせていただきます。

今年、こうして多くの友人達と成人式を迎えることができたことを、うれしく思っています。また、今まで私たちを見守ってきてくださった両親、先生方、そして町内の皆様に、この場を借りて感謝を伝えさせていただきます。



### 成人という節目を迎えて

本郷校区 松尾 大地

今年、こうして多くの友人達と成人式を迎えることができたことを、うれしく思っています。また、今まで私たちを見守ってきてくださった両親、先生方、そして町内の皆様に、この場を借りて感謝を伝えさせていただきます。

ものかもしれない。まずは、一歩一歩自分の経験を活かして成長していけばいいのではないかと思います。私は今、四国の大学に通っています。県外の学生も多く、知らなかったことを知ることが出来る機会に恵まれています。その中で、新しい観点から物事を見ることも出来るようになり、より成長していきたいと思っています。

## 新成人として思うこと

無事へ感謝することの大切さを感じています。私は、こうして大人の仲間入りを果たしたわけですが、まだまだ内面が追いついていない部分が多々あります。しかし、今後は助けられるばかりでなく、私が支えとなっていけるよう努めていきたいと思っています。そして、夢の実現を通して社会へ貢献していきたいと思っています。



### これまでとこれから

大冢洗校区 田原 早規

二十年の時を経て今年、私達は無事に成人式を迎えることができました。まず、これまで全力で支えてくれた家族をはじめ、地域の皆様や恩師の方々、そして、共に歩んできた仲間達に心から感謝申し上げます。

新成人として私達は、新

たな一歩を踏み出しました。これまでは、何かと守られる立場でありましたが、これからは、自分の足で立ち向かわなければならぬところが、多くあると思います。同時に、責任を持たなければならぬということですが、私は、四月から幼稚園の先生として働き出します。幼稚園は、子どもの命を預か

る場所です。当然大きな責任がかかってきます。社会に出るとは、こういうことだと思えます。不安はありますが、沢山の元気な子どもたちが待っていることを期待し、夢と希望を持って、前進していきたいと思えます。まだまだ未熟ではありますが、日々学ぶ姿勢を忘れず、努力を積み重ね、立派な成人になりたいと思えます。そして、少しでも社会に貢献していけるよう頑張りたいと思います。

無事に成人式を終え、ついに私達も大人の仲間入りを果たすこととなりました。この二十年を振り返ると、長く短い、それでも多くの事を学び経験することで、心身共に揺れ動く激動の時期だったと感じます。そして今の私があるのは、父と

母を始め、私達を支え、導いて下さった多くの方々の御蔭であり、心から感謝すると共に、これまで多くの時間を共有してきた仲間達にも深く感謝します。さて、晴れて成人となった私達ですが、大人には責任を持つことが必要であると言われます。しかし今日では、無責任な大人や親が

増長し、それに伴い大人だけでなく子ども達までもモラルが低下しています。この風潮は断ち切らなければなりません。その為にも、新成人となった私達が、周囲に流されず、責任感を持ち、分別のある大人になる必要があると考えます。新成人の皆さんは、どの様に考えますか。

### 感謝と責任

菊池校区 堀田 誉

最後に、大人といつてもまだまだ未熟者である為、精進し、一人前となる様努力していきたいと思えます。

最後に、大人といつてもまだまだ未熟者である為、精進し、一人前となる様努力していきたいと思えます。

### 学校から地域へ

### 「地域の方々を支えられて」

大堰小学校 福山千恵子



「先生、今日は、えらいのしみやん。」と、朝一番に、笑顔で話してくれる子ども達がいいます。わけを尋ねると、「だって、今日は、アンビがあるけん。」というのです。

入学当初は、参加するだけで精一杯だった子ども達も、今は、このアンビシヤ

ス広場の活動を毎回楽しみにしています。折り紙サークルで作った飾りを教室に持ってきてくれる子ども達

活動の様子を話してくれる子ども達。自由遊びやリズムムサークル、お茶や図書、寺子屋等、それぞれの活動がととも充実していることがわかります。

「放課後の子ども達の居場所づくりなのです。」と、この活動を支えてくださっているボランティアの方から聞いたことがあります。『放課後の居場所づくり』...とてもありがたい言葉だと思っています。この「体験」と

いう学びの場で、子ども達は、たくさんのことを考え、感じていくことでしよう。

体を通して学ぶ技も、人とかかわり方や挨拶の仕方なども、友だちと一緒に遊ぶ楽しさもすべてが子ども達を豊かに成長させているのだと思います。

「おはよう。」

「おかえり。」

「今日は、道具が多いね。」

何の勉強するとね。」

登下校の途中で、子ども達に声をかけてくださっている見守り隊の方々や地域の方々のことも子ども達が話してくれました。子ども達の話を耳を傾け、接し下さっている姿に地域の教育力の確かさを感じています。

地域の方々の大きな支えに感謝し、これからも学校、家庭、地域が共に知恵を出し合い「大堰の子どもを見守り育む」という同じ思いのもと、一緒に取り組んでいきたいと思っています。

### 保育園からごんには

### 「食をたのしむ」

本郷保育園 園長 弥永 敏枝



食は命と申します。今、子どもたちの育ちには、最も大切な事と思います。私自身、毎日食を意識しているのか、ふと考えた時に、何の疑問も持たず食事をしている事に気付き、ここ二、三年、本郷保育園でも食を考える事にしました。

年毎に、食に関するテーマを決め「楽しく食べよう」「やさいと仲良く」など、食育に取り組みました。又、地域の方のご厚意で、いちご狩り、じゃが芋堀り、さつま芋の苗植え、収穫等を経験させていただきました。

園内では夏野菜の種蒔、収穫



穫そしてクッキングなど四季折々、野菜を保育に取り入れ、又、行事に活かし、繰り返し取り組む事で、野菜がらいの子どもも食育の事ができる様になりました。

今年度は、クラス毎に日程を組み、保護者の試食会も行いました。保育園で、子どもと一緒に給食を食べる事で、我が子が家では見せない姿を見る事ができたと好評でした。又、保護者は、家での食事を見直すきっかけになったと思います。

その後、アンケートを取り、保護者からは、子どもたちが喜んで野菜を食べる工夫の仕方や、給食のレシピ等の問い合わせがあるなど、又、貴重な御意見や、有難い励ましなどいただいた事や、子どもたちのたくさん笑顔、そして、食育に取り組む職員の輝き、そんな力に押され、もつと良いものにしてしよう。そして、これからも地域の中で、子どもと一緒に、楽しい本郷保育園の食育を拡げて行きたいと思います。

これからも、地域の皆様よろしく願います。

平成二十一年度  
中学生の人権作文  
コンテスト福岡県大会

第二十九回全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会が行われ、今回は、県内の二四一校から四三、七四六編にも及ぶ多数の応募があり、大刀洗中学からも校内で選ばれた五編が応募されました。

この人権作文は、人権思想の普及高揚を図るための啓発活動の一環として、次代を担う中学生に、人権問題についての作文を書くことを通じて、人権尊重の重要性、必要性についての理解を深めるとともに豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的として実施されています。

提出された作品は、久留米人権擁護委員協議会と法務局久留米支局にて審査され、優秀と認められた作品が福岡法務局へ送られ中央大会への推薦がまします。今年度は、三年生の福永悠華さんの「今の私に出来る事」が、久留米支部での奨励賞に選ばれました。

# おかねの作文コンクールで 日本銀行総裁賞を受賞

第四十二回「おかねの作

文」コンクールで、大刀洗  
中学校三年平田美咲子さん  
が、特選の日本銀行総裁賞  
を受賞されました。また、  
大刀洗中学校三年の、永田  
美里さん・平田正太さん・  
三浦正暉さんの三人が、佳  
作に入賞されました。結果、  
大刀洗中学校が、学校賞を  
受賞されています。

日本銀行総裁賞を受賞さ  
れた、平田美咲子さんの作  
文を紹介します。

「お金がない」は不幸なこ  
と？

中学三年の夏から、私は  
「受験」について真剣に考  
えるようになりました。義  
務教育が終わり、これから  
は自分で自分の将来を決め  
なくてはなりません。希望  
も不安もたくさんあります。  
不安というのが、お金の問  
題でした。

私の家はとても裕福とは  
いえない状態にあり、お金

の余裕はありません。そう

すると必然的に、私の進路  
はあまりお金のかららない  
公立高校へと決められてい  
きました。嫌なわけではあ  
りませんが、自由に私立や  
専門学校を選択肢に入れら  
れる友人をうらやましく思  
うことも、しばしばありま  
した。

私立には、ファッション  
やエステなど、華やかなコ  
ースがあり、公立では学べ  
ないこともたくさんありま  
した。誰でも一度はあこが  
れるのではないのでしょうか。

「絶対、私立に行きたい」  
そう思う人もいると思いま  
す。実際に私も、「楽しそ  
うだなあ」と思っています  
た。

そんな時、私立の体験入  
学の話がありました。私は  
興味のあるコースがあつた  
ので、体験入学に行つてみ  
ることにしました。電車と  
バスを利用して高校に行き  
ました。授業は専門的な教

材を使って行われていまし  
た。昼食の給食はでないの  
で、友達と店で買いました。  
初めて見る高校の授業風景  
に、私はわくわくしていま

した。中学校にはない専門  
的な教材も初めて見るもの  
ばかりで、「私も将来はこ  
うなりたい」と感じました。

しかし、将来の希望ばかり  
を学んだわけではありませ  
んでした。高校に行くため  
にはたくさんのお金がかか  
るといふ現実を身をもつて  
知つたのです。交通費や授  
業料、昼食代と、たくさん  
のお金が必要になるとわか  
り、あらためて「私立には  
行けない」と思いました。

「こうしたいのにお金が  
ないからあきらめなければ  
ならない」という現実が、  
私だけではありません。世  
界を見てみると、もつと深  
刻な貧困で苦しんでいる国  
がたくさんあります。学校  
にも行けず、家計の助けの  
ために働かなければいけな  
い子ども達もたくさんいま  
す。その中には私より小さ  
い子もいます。学校につい  
てだけでなく、毎日の食事  
も満足に食べられない人達

もいます。病気にかかつて  
も病院に行けない。行つて  
も医者がいない、薬がない。  
そんな状況の国や村が世界  
にはたくさんあります。

日本はとても恵まれてい  
ると思います。中学卒業ま  
で義務教育により、無料で  
学校へ行けるし、親の働く  
お金だけで生活できている  
から、子どもは働かなくて  
もいい。食事も毎日三食が  
あたり前になつている。病  
気になれば病院に行けるし、  
最新の治療が受けられる。  
貧困で苦しんでいる国との  
差ははっきりしていると思  
います。お金のあふれない  
が、こんなに大きな問題に  
なるのです。ではどうすれ  
ば、このような問題を解決  
できるのでしょうか。どう  
すれば、お金による格差を  
なくすことができるのでし  
ょうか。

世界には、この問題を解  
決しようとしている人がた  
くさんいます。ボランティア  
活動や資金を送る人など、  
たくさんの方が助け合おう  
としています。私も、でき  
ることをしたいと思います。  
お金がない不自由さを、ほ

んの少しですが、私も体験  
したからです。格差は誰の  
せいで生まれたのかはわか  
りません。誰が悪いとい  
うわけでもないと思います。  
しかし、生まれた場所でこ  
んなにも差があることを、  
「しょうがない」だけで終  
わらせないように、世界中  
で協力しないとけません。

私は「どうせ私立にはい  
けない」などと、悲観した  
くないです。私立にはいけ  
なくても最大限の努力をし  
たいと思うし、公立でやれ  
ることをやるだけしたい  
です。そ

の結果、  
将来がど  
うなつて  
も、「あ  
の時、私  
立に行つ  
ていけば」  
また、高  
校のこと  
だけでな  
く、過去  
を振り返  
つて後悔  
はしたく  
ありません。

お金がないからといって、  
すべてをあきらめるのでは  
なく、お金のない中で自分  
がどう生きていくか。また、  
自分と同じような悩みを持  
つた、他の人々はどう助け  
合うか。答えはまだわかり  
ませんが、決して悪い結果  
ばかりではないと思います。  
お金がなくても、自分の成  
長や助け合いがある。「お  
金がない」ということは不  
幸ばかりではないとわかり  
ました。まずは受験をのり  
きれるよう、頑張りたいで  
す。



大堰校区  
ふれあいウォーキングに  
参加して  
矢ヶ部 佐恵子

大堰校区ふれあいウォーキング大会は、一月十六日に行われました。当日は、朝からお天気に恵まれ、この日 waited いた子ども達、参加者が続々と集まって、大堰の田園地帯を散策しながら、片の瀬公園を指し出発して行きました。

今回ボランティアスタッフとして参加しましたので、出発してからの戦闘開始でした。メニューは、豚汁とおにぎりです。大量調理に悪戦苦闘しながらもスタッフで協力しあい、料理が出来あがりました。間もなく子ども達も、散策の疲れも見せず、元気に帰着しました。その後は、みんなでの楽しい食事です。配膳で驚いた事は、子ども達がきちんと並んで順番を待っていた事です。受け取る時「ありがとございます。」「いただきます。」「食べ終えたら」「ごちそう様でした。」「美味しかった。」と気持ちを込め、挨拶をしてくれました。

相手の気持ちを考え、心を込め感謝してくれた事を、とても嬉しく思いました。

この会に参加して、楽しく有意義な一日を過ごす事ができて、感謝の気持ちで一杯です。有難うございました。



大堰

菊池校区  
左義長

池田 貞美

層蘇気分冷めやらぬ一月九日の夕刻、左義長（どんど焼き）が始まりました。

「思っていたよりも大きいので、びっくりしました。」初めて見に来られた方の感想は、北鶴木青壮年部員たちの手づくりの



菊池

賜物です。おでんや豚汁等が振る舞われ、一年の無病息災を祈り、無事終わりました。毎年田んぼを貸して下さる方、わらわを分けて下さる方々等の御蔭でもあります。たくさんの方の御厚意と熱意には頭が下がります。

これからも、ずっと続いて欲しいと思っているのは、私だけではないと思います。

大刀洗校区  
左義長

上杉 浩郎

「うわ!! よー燃えよるう」

「ほら! 火傷せんこと暖まらんねー、一年風邪ひかんごつねっ。」

中川区では、一月十日に恒例の左義長を行ないました。育成会、子ども会、中川消防団、区民の方々の協力のもと、午後七時に点火。地域の方々が、豚汁をふるまってくれたり、和気あいあいの中川区。「こげんやって、皆なで集まると楽しかねー。」と、区民の方々と話をしながら、子ども達は大はしゃぎ。

中川区は、参加者が年々、減ってきている様ですが、地域の方々のぬくもりを感じる大切な行事の一つです。



大刀洗

本郷校区  
左義長に参加して  
本郷小学校 高松 沙紀

一月十日日曜日、ふれあいセンターの近くの田んぼで、東本郷の左義長がありました。午後一時から竹を切って運んだり、竹を立てて組んだりしました。準備をするのはつかれたけど楽しかったです。午後四時半に点火しました。最初は小さかった火も、だんだん勢いをまして、最後は、竹がたおれるほどでした。その火を見ながらお母さん達の作った豚汁やぜんざい、お父さん達の焼いたウインナーやてんぷら、おばあちゃん達のつけたおつけ物を食べました。とてもおいしかったです。

家族や地域の人達に感謝して、今年一年元気にすごしていきたいです。



本郷

### 交流センターから こんにちは

憩いの園大堰交流センター  
指導員 後藤 和代



「おじゃましました。」  
発表会の練習に来ている保育園児の元気な声が聞こえてきます。

「こんにちは」

夕方になると、学校を終えた学童保育の子や、アンピシヤス広場のサークルに参加する子がやって来ます。

一月に、大堰交流センターの指導員に就任した後藤

ふわふわと、春の香りに包

まれたかのように暖かい

気持ちになりました。

れんらくメモが、受付窓口

にありました。それは、

あいらしい字で書かれた、

ちっちゃなメモでした。

いつもありがと！

と、書かれていました。

センターを利用している小

学生の皆さんからです。

### ふれあいの花を 咲かせましょう

本郷ふれあいセンター  
指導員 大野 愛里



た方とお話させていただき  
たりしました。  
地域の方々が、就任した  
の私に、やさしくしてい  
ただいたこと、大変感謝し  
ております。

これから、地域のみなき  
まのお役に立てるように、  
一生懸命がんばりたいと思  
います。

よろしく願います。

## 校区センターだより

まかバイ！」と、手作り野  
菜の定期便のおじさん。

「話を聞いてくれるから嬉

しかあー。」と、訪れる方。

たくさんのふれあいですが、

今日も続いています。

暖かい季節を迎えます。

どしどし、遊びに来て下さ

いね。話の花をさかせまし

ようね。ふれあい」とい

う大きな実を、地域の皆さ

んと共にのらせましょう。

お待ちしております。

080-4079-7515

### 半年が過ぎました

南部コミュニケーションセンター  
指導員 河野記代美



校区センターに配属にな

り、半年が過ぎました。

顔見知りの方も増え「セ

ンターの雰囲気が出るくな

った」「申請の手続きも役

場まで行かなくて良いので

楽になった」「居てくれ

だけで助かる」等々、嬉し

い言葉を掛けて頂いていま

す。又、利用される方々か

ら時折、おやつ・野菜・お

漬物などを頂戴し、河野家

の食費が随分助かっており

ます。(また、それが美味

しいのです。)

夕方には、学童の子ども

達が走ってセンターにやっ

てきます。元気が良すぎて

先生方を困らせている時も

あるようですが、子ども達

しく、あらゆる物事に対し

ても、常に感謝の気持ちや

愛情の心を持って接しよう

ということですよ。

また、私は大刀洗町に移

り住んで三十年ほどになり

ますが、ある方にこんなこ

とを言われた事があります。

「大刀洗町は、車の運転

が出来る若いうちは、近辺

に買い物が出る施設や、

の笑顔は、私の癒しになっ  
てくれています。

南部コミュニケーションセン

ターの事務所は、とても狭

く、中でゆつくりお話をす

る事は、なかなか出来ませ

んが、これからもセンター

が利用しやすいよう又、校

区の皆様に、町・県・国の

催しものをご案内し、新た

な集いの場・学びの場がご

提供出来るよう「校区コミ

ュニティーの場」として情

報を発信していきます。

住みたくない。」と。

私は、その心こそが故郷

を思いやる心だと考えます。

そして、その方と同様、こ

の町「大刀洗町」が好きだ

という気持ちをいつまでも

持ち続け、いま自分にでき

ることを一歩一歩、着実に

頑張っていきたいと思いま

す。

### 今どきのいっしょ

就業改善センター  
指導員 重岡 信義





# 親子で楽しむ〇〇巡り⑱ 「健康を支えてきた薬と人の歩みをたどって」 中富記念くすり博物館

重松めぐみ

さかのぼること江戸時代には、鳥栖市東部は田代と呼ばれていました。その田代と基山町一帯で約三百年前に生まれた産薬が配置売薬です。配置売薬とは、各家庭を回って薬を預け、再び訪れた時に使用されていた代金のみを受け取って、減った薬をまた薬箱へ補充するというものでした。田

代売薬と呼ばれたそれは、富山、大和（奈良）、近江（滋賀）と並ぶまでに成長し、日本の四大売薬の一つに数えられるようになりました。その薬文化の歴史深い田代の地にあるのが、開館から十五年を経た中富記念くすり博物館です。

計した建物の所在地は、市街地を少し外れた九千部の麓、広がる田園と緑に囲まれた神辺町（このま）の国内に二カ所しかないくすりの博物館として、日本の薬の歴史はもろろんのこと、世界の薬、珍しい生薬、現代の薬に関する情報等、くすりに関するさまざまなことが学べます。一階にある十九世紀末のイギリス、ロンドンにあった薬局の店内をそのまま移設した展示には、どなたも心惹きつけられることでしょう。ずらりと並んだ薬瓶や薬品、調度品の美しさは、薬局という

よりは神秘さの漂うアンテナークショップのようです。二階では、田代売薬が栄えていた頃の伝統的な製薬道具や文書類、江戸末期のくすり屋の復元、そして七十種余りの生薬を展示しています。

館外には、くすりになる植物を集めた八百坪の薬用植物園もあります。身近な植物から珍しいものまで、約四百種。学ぶために観賞するというより、まるで公園を散策しているような感覚で季節の植物を楽しんでいただけます。

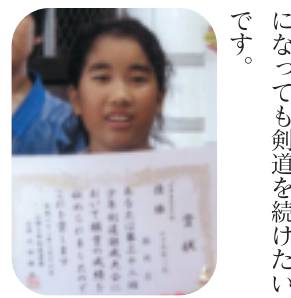
時代を超え、古代より私たちの健康を支えてきた薬と人の歩み。その歴史を辿っていただきながら、先人たちが残した知恵や健康への願いを感じていただけることを願っています。



TEL 0942-84-3334

毎月第3日曜日  
**家庭の日**  
家庭の日  
(毎月第3日曜日)には

- 家族みんなが顔をそろえよう
- 子どもの意見や考えを聞くようにしましょう
- 家族みんなでスポーツやレクリエーションをしよう
- 家庭を離れている家族と連絡を取りあおう
- 子どものしつけや方法について考えよう



あてげんの  
がまだしもん  
「大刀洗剣心会」  
福嶋 萌

【育成だよりの編集委員長】

大刀洗校区	結城 保隆
大堰校区	野瀬 忠治
本郷校区	平田 美穂
大野校区	大野 愛里
大場校区	大場 邦子
中島校区	中島 誠
池田校区	池田 貞美
田中校区	田中 正起
事務局	

今年、大刀洗町では一九七名の方が新成人となりました。昨年が一九六名だったので、一名の増となっています。人口の減少傾向にある中で、何かホッとする気持ちです。

しかしながら、住んでいる地域の状況は、活気が感じられないようになってきています。それは、昔に比べて、近所で子ども達の声が聞かれなくなってきたからだと思います。

大刀洗町内のあちらこちらに、アパート等ができていますので、子ども達が増えて町内に活気がでてくることを期待しています。

(結)

**編集後記**